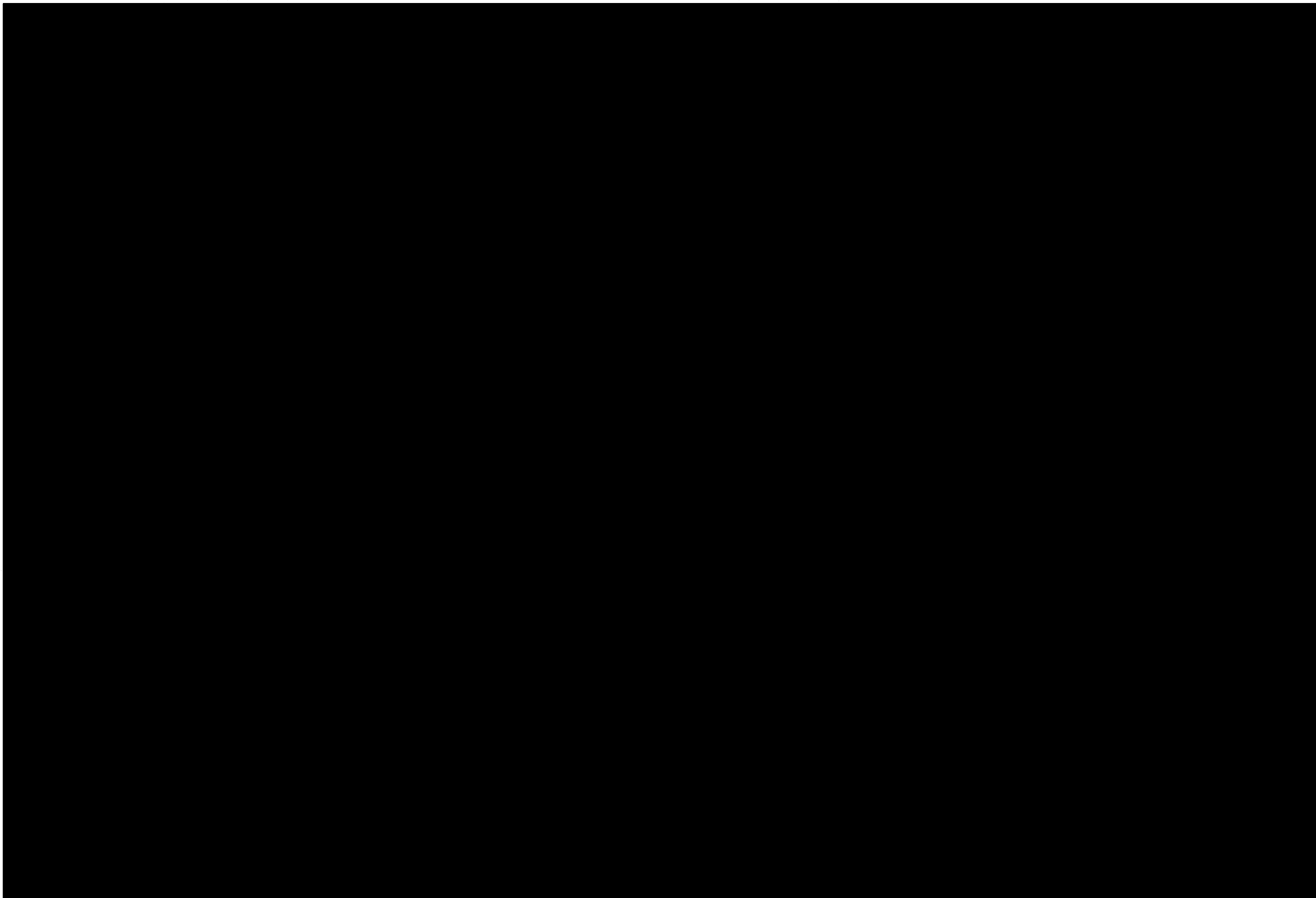
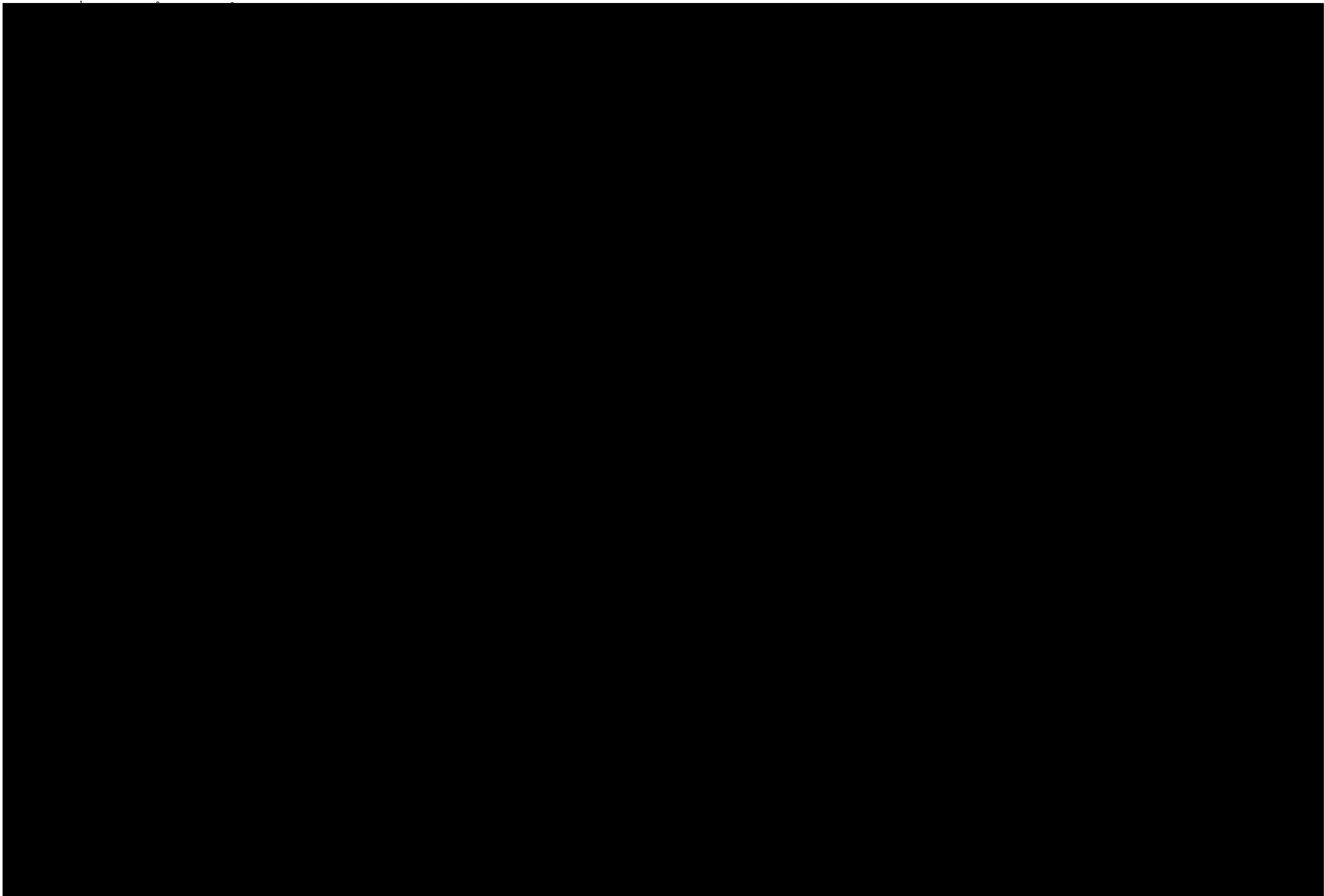
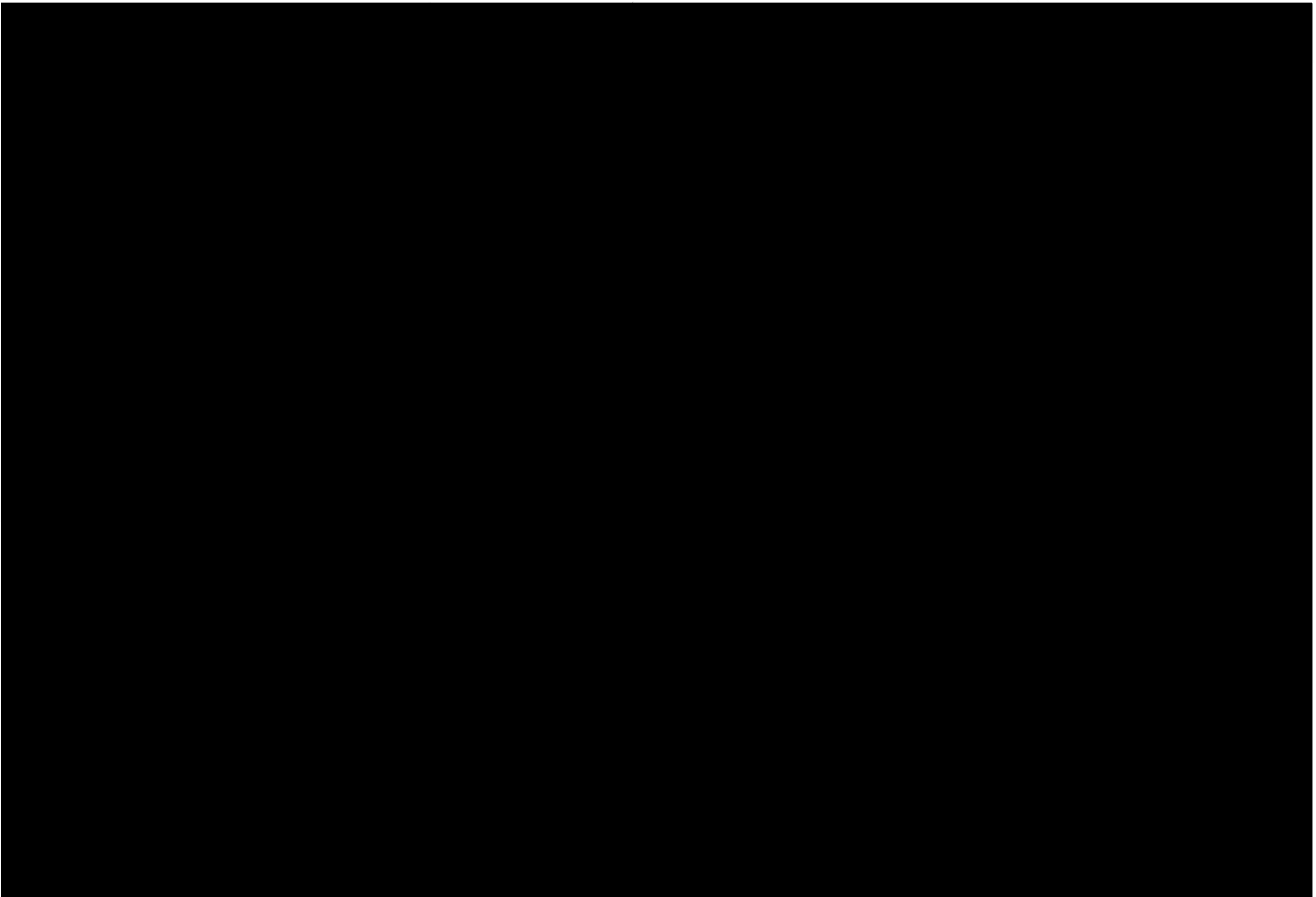


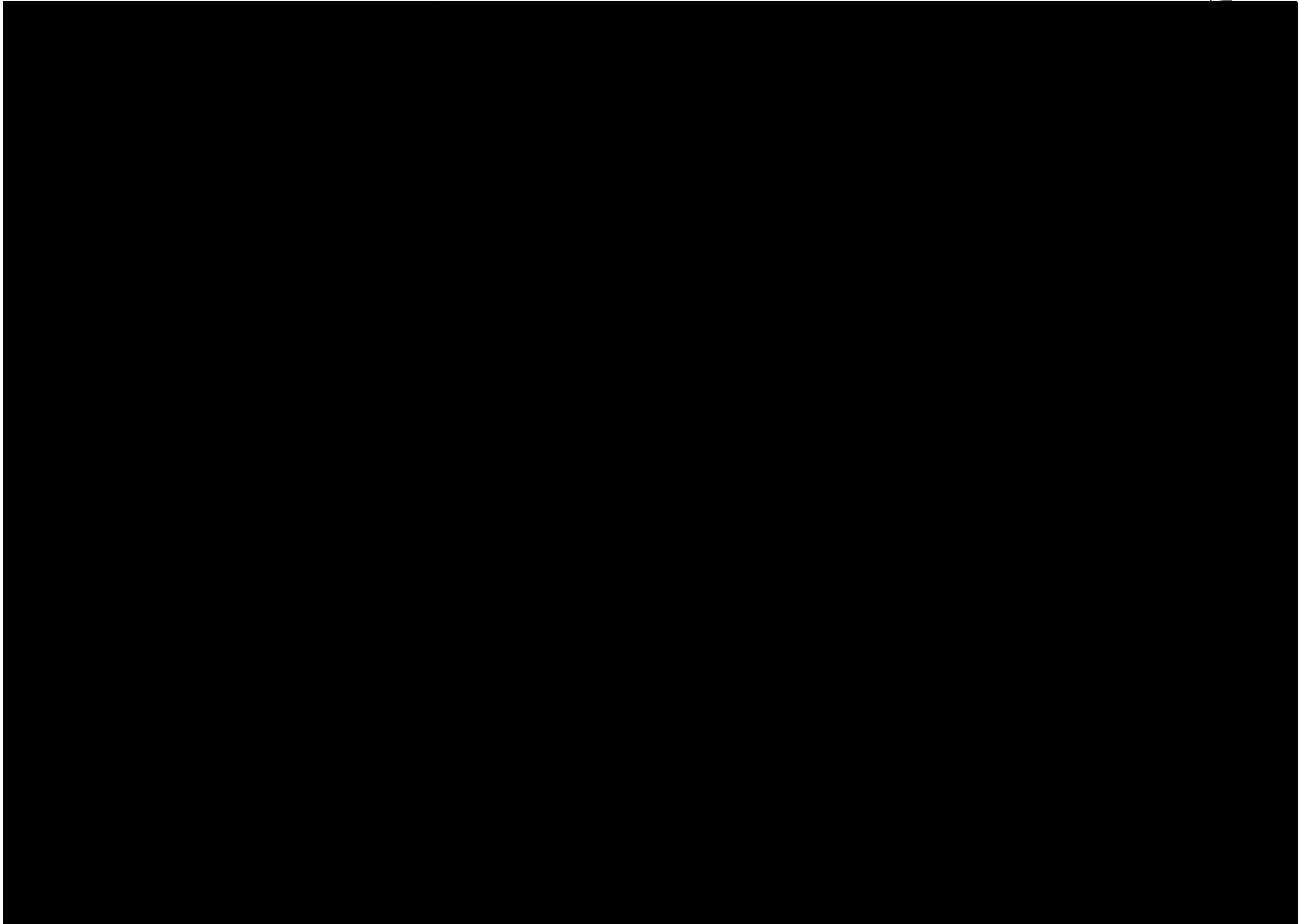
10. 防災施設課

(1) 設計図書「緊急時対策建屋の機能要求図（緊急時対策所）」

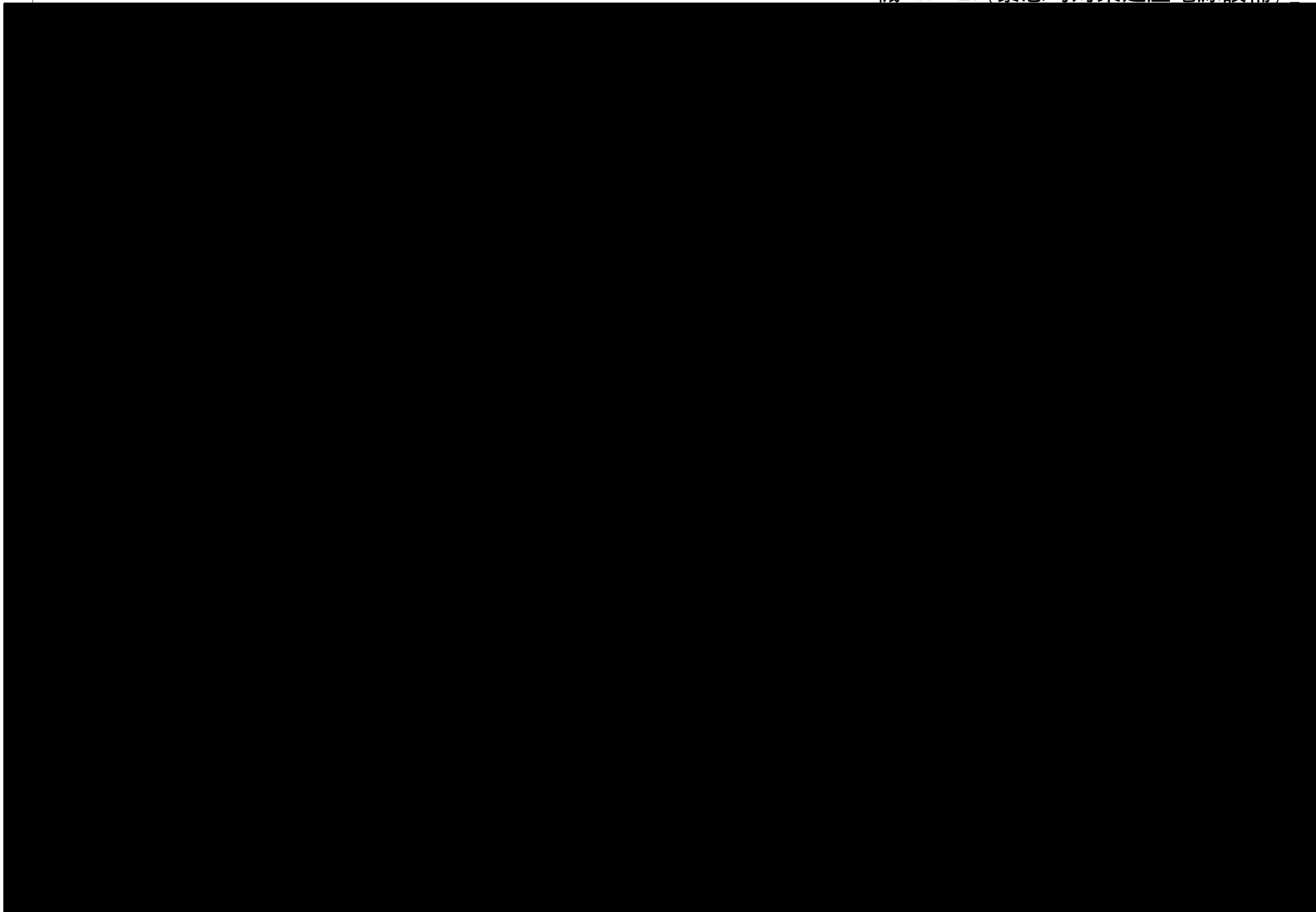








(2) 設計図書「緊急時対策建屋の所内単線結線図」



(3) 許可申請書「緊急時対策所の主要設備及び仕様」

第 9.16-2 表(1) 緊急時対策所の主要設備及び仕様（重大事故等対処設備）

1. 緊急時対策建屋の遮蔽設備

[常設重大事故等対処設備]

a) 緊急時対策建屋の遮蔽設備（MOX燃料加工施設と共用）

外部遮蔽 厚さ 約 1.0m以上

2. 緊急時対策建屋換気設備

[常設重大事故等対処設備]

a) 緊急時対策建屋送風機（MOX燃料加工施設と共用）

台 数 4（予備として故障時のバックアップを2台）

容 量 約 63,500m³/h/台

b) 緊急時対策建屋排風機（MOX燃料加工施設と共用）

台 数 4（予備として故障時のバックアップを2台）

容 量 約 63,500m³/h/台

c) 緊急時対策建屋フィルタユニット（MOX燃料加工施設と共用）

種 類 高性能粒子フィルタ2段内蔵形

基 数 6（予備として故障時のバックアップを1基）

粒子除去効率 99.9%以上（0.15μmDOP粒子）

容 量 約 25,400m³/h/基

d) 緊急時対策建屋換気設備ダクト・ダンパ（MOX燃料加工施設と共用）

数 量 1式

e) 緊急時対策建屋加圧ユニット（MOX燃料加工施設と共用）

容 量 4,900m³ [normal] 以上

f) 緊急時対策建屋加圧ユニット配管・弁（MOX燃料加工施設と共用）

数 量 1 式

g) 対策本部室差圧計（MOX燃料加工施設と共用）

基 数 1

測定範囲 $-0.5 \sim 0.5 \text{ kPa}$

h) 待機室差圧計（MOX燃料加工施設と共用）

基 数 1

測定範囲 $-0.5 \sim 0.5 \text{ kPa}$

i) 監視制御盤（MOX燃料加工施設と共用）

面 数 1

3. 緊急時対策建屋環境測定設備

[可搬型重大事故等対処設備]

a) 可搬型酸素濃度計（MOX燃料加工施設と共用）（設計基準対象の施設と兼用）

b) 可搬型二酸化炭素濃度計（MOX燃料加工施設と共用）（設計基準対象の施設と兼用）

c) 可搬型窒素酸化物濃度計（MOX燃料加工施設と共用）（設計基準対象の施設と兼用）

4. 緊急時対策建屋放射線計測設備

[可搬型重大事故等対処設備]

a) 可搬型屋内モニタリング設備

a-1) 可搬型エリアモニタ（MOX燃料加工施設と共用）

機-8

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)
計測範囲 0.001~99.99mSv/h

a-2) 可搬型ダストサンプラ (MOX燃料加工施設と共用)

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

機-9 a-3) アルファ・ベータ線用サーベイメータ (MOX燃料加工施設と
共用)

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

計測範囲 B.G~100km⁻¹ (アルファ線)

計測範囲 B.G~300km⁻¹ (ベータ線)

b) 可搬型環境モニタリング設備

機-10 b-1) 可搬型線量率計 (MOX燃料加工施設と共用)

種 類 NaI (Tl) シンチレーション式検出器半導
体式検出器

計測範囲 B.G. ~100 mSv/h 又はmGy/h

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

機-11 b-2) 可搬型ダストモニタ (MOX燃料加工施設と共用)

種 類 ZnS (Ag) シンチレーション式検出器
プラスチックシンチレーション式検出器

計測範囲 B.G. ~99.9km⁻¹

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

b-3) 可搬型データ伝送装置 (MOX燃料加工施設と共用)

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

機-7 b-4) 可搬型発電機 (MOX燃料加工施設と共用)

台 数 3 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)

容 量 約3kVA/台

5. 緊急時対策建屋情報把握設備

[常設重大事故等対処設備]

a) 情報収集装置 (MOX燃料加工施設と共用)

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

b) 情報表示装置 (MOX燃料加工施設と共用)

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

c) データ収集装置 (設計基準対象の施設と兼用)

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

d) データ表示装置 (設計基準対象の施設と兼用)

台 数 2 (予備として故障時のバックアップを1台)

6. 通信連絡設備

「第9.17.2-3表 通信連絡設備及び代替通信連絡設備の主要機器仕様」に記載する。

7. 緊急時対策建屋電源設備

[常設重大事故等対処設備]

a) 電源設備

a-1) 緊急時対策建屋用発電機 (MOX燃料加工施設と共用)

ディーゼル機関

台 数	2 (予備として故障時のバックアップを1台)
燃 料	A重油 (約420 L / h)
発電機	
種 類	三相同期発電機
容 量	約1,700 k V A / 台
力 率	0.8 (遅れ)
電 圧	6.6 k V
周 波 数	50H z

a-2) 緊急時対策建屋高圧系統 6.9 k V 緊急時対策建屋用母線 (MO X 燃料加工施設と共用)

数 量 2 系統

a-3) 緊急時対策建屋低圧系統 460 V 緊急時対策建屋用母線 (MO X 燃料加工施設と共用)

数 量 4 系統

a-4) 燃料油移送ポンプ (MO X 燃料加工施設と共用)

台 数 4 (予備として故障時のバックアップを2台)

容 量 約 1.3m³ / h / 台

a-5) 燃料油配管・弁 (MO X 燃料加工施設と共用)

数 量 1 式

b) 燃料補給設備

b-1) 重油貯槽 (MO X 燃料加工施設と共用)

基 数 2

容 量 約 100m³ / 基

使用燃料 A重油

(4) 設計図書「建屋換気設備 大気圧配管系統図」

